



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社インターネットイニシアティブ 上場取引所 東  
 コード番号 3774 URL <https://www.iij.ad.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 勝 栄二郎  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員CFO(氏名) 渡井 昭久 TEL (03)5205-6500  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	229,310	14.0	20,705	2.1	20,588	4.8	13,927	6.0	13,786	6.2	16,878	6.8
2024年3月期第3四半期	201,098	8.5	20,280	7.9	19,645	3.3	13,137	1.3	12,979	1.0	15,800	18.7

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第3四半期	77	93	77	53
2024年3月期第3四半期	73	10	72	72

## (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	
2025年3月期第3四半期	307,666		137,921		136,548		44.4	
2024年3月期	273,713		127,032		125,751		45.9	

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	17.18	—	17.18	34.36	
2025年3月期	—	17.50	—			
2025年3月期(予想)				17.50	35.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	312,000	13.0	32,000	10.2	30,600	5.8	20,600	3.9	116	46

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2025年3月期の連結業績予想の詳細につきましては、添付資料8頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

詳細は添付資料17頁「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (未監査) (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	183,184,884株	2024年3月期	183,141,100株
2025年3月期3Q	6,268,144株	2024年3月期	6,329,688株
2025年3月期3Q	176,896,528株	2024年3月期3Q	177,543,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想の適切な利用に関する説明

業績予想は、本資料の発表日現在において当社グループの入手可能な情報に基づき、一定の前提 (仮定) を用いて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。また、今後の当社グループの事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、実際の業績が現状の見通し数値と大きく変わる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料8頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) その他

決算説明会プレゼンテーション資料は、TDnetにて2025年2月7日に開示し、併せて当社ホームページへも掲載する予定です。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 (未監査)	9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 (未監査)	11
要約四半期連結損益計算書	11
要約四半期連結包括利益計算書	12
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 (未監査)	13
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (未監査)	15
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (未監査)	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(会計方針の変更)	17
(セグメント情報)	18
(重要な後発事象)	18

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①当四半期(2025年3月期第3四半期)の連結業績の概況

当期における国内景気は、一部に足踏みもみられますが、緩やかに回復しました。先行きにつきましては、雇用や所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響等による海外景気の下振れによる下押しリスクがあり、物価上昇、米国の政策動向、中東地域をめぐる情勢及び金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

そのような景気動向の中、当社グループが主にかかわる法人ICT(\*1)関連市場では、クラウドコンピューティング関連サービスやAI(\*2)等の新技術の企業活動への活用の浸透、それらも含む要因によるインターネットトラフィック(\*3)の継続増加、サイバーセキュリティ対策の重要性の高まり等が想定されます。企業のネットワーク及びシステムの領域は、旧来の社内ネットワークからインターネット技術も融合した多様なものへと変化しつつあり、今後も信頼性の高いネットワーク及びシステムの安定運用の重要性が増していくと想定をしております。

当第3四半期連結累計期間の事業概況につきましては、ネットワーク更改等の需要が活況で、多様な業種でネットワーク構築等の大型サービスインテグレーション(\*4)案件の獲得が進みました。日本アイ・ビー・エム(株)及び(株)三菱UFJ銀行との地銀向け新共同プラットフォーム案件(\*5)として、当第2四半期での総額約60億円・8年間の1号案件に続き、当第3四半期に総額約110億円・8年間の2号案件も獲得しました。売上高は、システムインテグレーションの高増収継続及びネットワークサービスの堅調な積み上げ等で、前年同期比14.0%増と大きく伸長しました。営業利益は、VMware製品の実質大幅値上げ(\*6)に対応する価格転嫁・改定等も進捗し、当該増加費用を吸収したうえで前年同期比増益へと回帰しました。新たな事業案件では、(株)Preferred Networks (以下、PFN) 及び三菱商事(株)と合弁会社を設立し、2026年初でのPFNのAI半導体(\*7)を活用したクラウドサービスの提供開始を予定しております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、総売上高は、前年同期比14.0%増の229,310百万円(前年同期201,098百万円)となりました。売上原価は前年同期比16.3%増の180,382百万円(前年同期 155,145百万円)となり、売上総利益は前年同期比6.5%増の48,928百万円(前年同期 45,953百万円)となりました。内訳といたしましては、ネットワークサービスの売上高は前年同期比7.0%増の120,109百万円(前年同期 112,303百万円)、売上総利益は前年同期比4.6%増の33,692百万円(前年同期 32,225百万円)となりました。ネットワークサービスの売上原価において、当第3四半期に、2023年度利用分のモバイルデータ接続料(\*8)の単価確定による費用戻しが、前年同四半期と同水準の規模でありました。システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は前年同期比23.5%増の107,003百万円(前年同期 86,620百万円)、売上総利益は前年同期比11.5%増の14,216百万円(前年同期 12,746百万円)となりました。そのうち、システム構築売上は前年同期比39.3%増の46,726百万円(前年同期 33,540百万円)、システム運用保守売上は前年同期比13.6%増の60,277百万円(前年同期 53,080百万円)となりました。ATM運営事業の売上高は前年同期比1.1%増の2,198百万円(前年同期 2,175百万円)、売上総利益は前年同期比3.9%増の1,020百万円(前年同期 982百万円)となりました。販売管理費等(販売費及び一般管理費、その他の収益及びその他の費用の合計)は前年同期比9.9%増の28,223百万円(前年同期 25,673百万円)となりました。営業利益は、前年同期比2.1%増の20,705百万円(前年同期 20,280百万円)となりました。税引前四半期利益は、主として為替影響によるファンドに係る金融資産評価益512百万円(前年同期 212百万円の評価損)があり、前年同期比4.8%増の20,588百万円(前年同期 19,645百万円)となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比6.2%増の13,786百万円(前年同期 12,979百万円)となりました。

### 用語集

- (\*1) ICT: Information and Communication Technologyの略。コンピュータによる情報通信に関するハードウェア、ソフトウェア、システム及びデータ通信等に関する技術の総称。
- (\*2) AI: Artificial Intelligenceの略。コンピュータシステムや機械が、推論、判断及び学習等の人間の知能を模倣する技術のこと。
- (\*3) インターネットトラフィック: インターネットを通じて転送されるデータ流量のこと。
- (\*4) サービスインテグレーション: 初期にネットワーク構築等のシステム構築売上が計上され、以後にネットワークサービス及びシステム運用保守との月額売上が計上されるネットワークサービスとシステムインテグレーションが融合した態様での役務提供となる案件の総称。
- (\*5) 詳細は2024年10月1日発表のプレスリリース「日本IBMとIIJが協業し、地域金融機関向けに分散基盤共同プラットフォームを提供開始」をご参照下さい。
- (\*6) 詳細は、2024年5月10日公表の適時開示「2024年3月期 決算短信 [IFRS] (連結) (別紙) 参考資料: 2024年3月期 連結業績説明資料」の26頁をご参照下さい。
- (\*7) AI半導体: AIの処理に特化した半導体のこと。PFNのAI半導体は省電力かつ高い演算性能を持つ。
- (\*8) モバイルデータ接続料: モバイル設備の利用に係るデータ通信帯域に係る費用、Mbps当り単価のこと。

## ②経営成績の分析

当社グループは、ネットワークサービスとシステムインテグレーションを複合して顧客に提供しており、「ネットワークサービス及びSI事業」を主要な報告セグメントとしております。以下では、役務別の分析により記載しております。

## &lt;連結業績サマリー&gt;

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
売上収益合計	201,098	229,310	14.0
ネットワークサービス売上高	112,303	120,109	7.0
システムインテグレーション売上高 (注)1	86,620	107,003	23.5
ATM運営事業売上高	2,175	2,198	1.1
売上原価合計	△155,145	△180,382	16.3
ネットワークサービス売上原価	△80,078	△86,417	7.9
システムインテグレーション売上原価 (注)1	△73,874	△92,787	25.6
ATM運営事業売上原価	△1,193	△1,178	△1.3
売上総利益合計	45,953	48,928	6.5
ネットワークサービス売上総利益	32,225	33,692	4.6
システムインテグレーション売上総利益 (注)1	12,746	14,216	11.5
ATM運営事業売上総利益	982	1,020	3.9
販売管理費等 (注)2	△25,673	△28,223	9.9
営業利益	20,280	20,705	2.1
税引前四半期利益	19,645	20,588	4.8
親会社の所有者に帰属する四半期利益	12,979	13,786	6.2

(注) 1. システムインテグレーションには機器販売を含んでおります。

2. 販売費及び一般管理費(含む研究開発費)、その他の収益、その他の費用の合計額を記載しております。

## &lt;セグメント情報サマリー&gt;

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
連結売上収益	201,098	229,310
ネットワークサービス及びSI事業	198,984	227,138
ATM運営事業	2,175	2,198
セグメント間取引消去	△61	△26
連結営業利益	20,280	20,705
ネットワークサービス及びSI事業	19,489	19,836
ATM運営事業	791	869
セグメント間取引消去	-	-

## i) 売上収益

当第3四半期連結累計期間における売上収益は、前年同期比14.0%増の229,310百万円(前年同期 201,098百万円)となりました。

## &lt;ネットワークサービス売上高&gt;

法人向けインターネット接続サービスの売上高は、法人IoT等用途向けモバイルサービス及びIPサービス等の売上増加があり、前年同期比8.7%増の36,132百万円(前年同期 33,245百万円)となりました。

個人向けインターネット接続サービスの売上高は、個人向けモバイルサービス等の売上増加があり、前年同期比6.3%増の19,880百万円(前年同期 18,702百万円)となりました。

アウトソーシングサービスの売上高は、セキュリティ関連サービス等の売上増加があり、前年同期比11.0%増の43,434百万円(前年同期 39,145百万円)となりました。

WANサービスの売上高は、前年同期比2.6%減の20,663百万円(前年同期 21,211百万円)となりました。

これらの結果、ネットワークサービス売上高は、前年同期比7.0%増の120,109百万円(前年同期 112,303百万円)となりました。なお、当第3四半期初に一部のサービス価格の改定を行いました。

ネットワークサービス売上高の内訳、法人向け及び個人向けインターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域は、それぞれ以下のとおりであります。

## &lt;ネットワークサービス売上高の内訳&gt;

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
ネットワークサービス売上高合計	112,303	120,109	7.0
法人向けインターネット接続サービス	33,245	36,132	8.7
IPサービス(含むインターネットデータセンター接続サービス)	11,933	12,806	7.3
IIJモバイルサービス	17,918	19,754	10.2
法人IoT等用途向け直接提供	10,045	11,259	12.1
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	7,873	8,495	7.9
その他	3,394	3,572	5.2
個人向けインターネット接続サービス	18,702	19,880	6.3
IIJmioモバイルサービス	16,221	17,375	7.1
その他	2,481	2,505	1.0
アウトソーシングサービス	39,145	43,434	11.0
WANサービス	21,211	20,663	△2.6

## &lt;インターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域&gt;(注)1

	前第3四半期連結会計期間末 (2023年12月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (2024年12月31日現在)	増減
法人向けインターネット接続サービス契約数合計	3,497,444	4,336,695	839,251
IPサービス(1Gbps以上)(注)2	1,385	1,460	75
IPサービス(1Gbps未満)(注)2	1,411	1,582	171
IIJモバイルサービス	3,396,787	4,230,732	833,945
法人IoT等用途向け直接提供	2,249,379	2,999,911	750,532
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	1,147,408	1,230,821	83,413
その他	97,861	102,921	5,060
個人向けインターネット接続サービス回線数合計	1,575,377	1,607,052	31,675
IIJmioモバイルサービス	1,238,625	1,284,309	45,684
その他	336,752	322,743	△14,009

	帯域(Gbps)	帯域(Gbps)	(Gbps)
法人向けインターネット接続サービス契約総帯域(注)3	10,339.0	11,826.1	1,487.1

- (注) 1. 法人向けインターネット接続サービス及び個人向けインターネット接続サービスの内訳において、「IIJモバイルサービス」及び「IIJmioモバイルサービス」は回線数を表示しており、それ以外は契約数を表示しております。
2. IPサービスには、インターネットデータセンター接続サービスが含まれます。
3. 法人向けインターネット接続サービスのうち、IPサービス(含むインターネットデータセンター接続サービス)及びブロードバンド対応型サービス各々の契約数と契約帯域を乗じるにより算出してあります。

<システムインテグレーション売上高>

システム構築及び機器販売による一時的な売上高は、前年同期比39.3%増の46,726百万円(前年同期 33,540百万円)となりました。システム運用保守による継続的な売上高は、システム運用保守案件の継続積み上げによる増加等があり、前年同期比13.6%増の60,277百万円(前年同期 53,080百万円)となりました。

これらの結果、システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は、前年同期比23.5%増の107,003百万円(前年同期 86,620百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注は、前年同期比5.3%増の113,588百万円(前年同期 107,890百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注は前年同期比4.8%増の45,485百万円(前年同期 43,390百万円)、システム運用保守に関する受注は前年同期比5.6%増の68,103百万円(前年同期 64,500百万円)でありました。

当第3四半期連結会計期間末のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注残高は、前年同期末比11.0%増の115,478百万円(前年同期末 104,027百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注残高は前年同期末比4.8%減の22,520百万円(前年同期末 23,649百万円)、システム運用保守に関する受注残高は前年同期末比15.7%増の92,958百万円(前年同期末 80,378百万円)でありました。

<ATM 運営事業売上高>

ATM運営事業売上高は、前年同期比1.1%増の2,198百万円(前年同期 2,175百万円)となりました。

ii) 売上原価

当第3四半期連結累計期間における売上原価は、前年同期比16.3%増の180,382百万円(前年同期 155,145百万円)となりました。

<ネットワークサービス売上原価>

ネットワークサービスの売上原価は、ライセンス費用の増加等があり、前年同期比7.9%増の86,417百万円(前年同期 80,078百万円)となりました。当第3四半期に、2023年度利用分のモバイルデータ接続料の単価確定による費用戻しが、前年同四半期と同水準の規模でありました。ネットワークサービスの売上総利益は、当第3四半期初に一部のネットワークサービスの価格改定を実施したこともありVMware製品の実質大幅値上げによる費用増加影響を吸収し、前年同期比4.6%増の33,692百万円(前年同期 32,225百万円)となり、ネットワークサービスの売上総利益率は28.1%(前年同期 28.7%)となりました。

<システムインテグレーション売上原価>

システムインテグレーション(含む機器販売)の売上原価は、仕入、外注関連費用及びライセンス費用の増加等があり、前年同期比25.6%増の92,787百万円(前年同期 73,874百万円)となりました。機器販売を含むシステムインテグレーションの売上総利益は、VMware製品の実質大幅値上げによる費用増加影響を吸収し、前年同期比11.5%増の14,216百万円(前年同期 12,746百万円)となり、売上総利益率は13.3%(前年同期 14.7%)となりました。

<ATM 運営事業売上原価>

ATM運営事業売上原価は、前年同期比1.3%減の1,178百万円(前年同期 1,193百万円)となりました。売上総利益は、前年同期比3.9%増の1,020百万円(前年同期 982百万円)となり、売上総利益率は46.4%(前年同期 45.1%)となりました。

iii) 販売管理費等

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費(含む研究開発費)は、人件関連費用の増加等があり、前年同期比10.2%増の28,228百万円(前年同期 25,621百万円)となりました。

その他の収益は119百万円(前年同期 98百万円)となりました。その他の費用は114百万円(前年同期 150百万円)となりました。

iv) 営業利益

当第3四半期連結累計期間における営業利益は、前年同期比2.1%増の20,705百万円(前年同期 20,280百万円)となりました。

v) 金融収益、金融費用及び持分法による投資損益

当第3四半期連結累計期間における金融収益は、ファンドに係る金融資産評価益512百万円(前年同期 212百万円の評価損)及び為替差益144百万円(前年同期 268百万円の利益)等により、903百万円(前年同期 491百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間における金融費用は、支払利息738百万円(前年同期 456百万円)等により、756百万円(前年同期 704百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間における持分法による投資損益は、㈱ディーカレットホールディングスに関する損失335百万円(増資による持分変動利益209百万円含む)等があり、264百万円の損失(前年同期 422百万円の損失)となりました。

vi) 税引前四半期利益

当第3四半期連結累計期間における税引前四半期利益は、前年同期比4.8%増の20,588百万円(前年同期 19,645百万円)となりました。

vii) 四半期利益

当第3四半期連結累計期間における法人所得税費用は、6,661百万円の費用(前年同期 6,508百万円の費用)となり、当第3四半期連結累計期間における四半期利益は、前年同期比6.0%増の13,927百万円(前年同期 13,137百万円)となりました。

非支配持分に帰属する四半期利益は、㈱トラストネットワークスに係る利益等により141百万円(前年同期 158百万円)となり、当第3四半期連結累計期間における親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比6.2%増の13,786百万円(前年同期 12,979百万円)となりました。

viii) 四半期包括利益

当第3四半期連結累計期間における四半期包括利益は、保有株式の時価増加2,429百万円(前年同期 2,015百万円)等により、前年同期比6.8%増の16,878百万円(前年同期 15,800百万円)となりました。当第3四半期連結累計期間における親会社の所有者に帰属する四半期包括利益は、前年同期比7.0%増の16,737百万円(前年同期 15,642百万円)となりました。



## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び株主資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比33,953百万円増加し、307,666百万円(前連結会計年度末 273,713百万円)となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末比8,028百万円増加し、127,917百万円(前連結会計年度末 119,889百万円)となり、主な残高及び増減の内訳は、現金及び現金同等物の10,660百万円減少の34,814百万円、営業債権の1,397百万円増加の47,080百万円、顧客向け案件及びライセンス並びに設備関連等による前払費用の8,915百万円増加の28,999百万円、契約資産の3,814百万円増加の6,924百万円及び棚卸資産の3,278百万円増加の6,505百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における非流動資産は、前連結会計年度末比25,925百万円増加し、179,749百万円(前連結会計年度末 153,824百万円)となりました。主な残高及び増減の内訳は、松江データセンターパーク関連資産の取得等による有形固定資産の3,825百万円増加の32,897百万円、使用権資産(オフィス、データセンター等の賃借契約及び通信機器等のリース契約の利用権)の取得等による1,698百万円増加の42,940百万円、無形資産の2,000百万円増加の20,357百万円、顧客向け案件及びライセンス並びに設備関連等による前払費用の8,776百万円増加の28,188百万円、投資有価証券(株式)の3,645百万円増加の18,208百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比11,335百万円増加の109,693百万円(前連結会計年度末 98,358百万円)となりました。主な残高及び増減の内訳は、営業債務及びその他の債務の5,095百万円増加の30,530百万円、借入金の3,502百万円増加(うち、調達による増加7,000百万円、返済による減少3,548百万円及び非流動負債からの振替等47百万円)の33,635百万円、契約負債の2,983百万円増加の15,668百万円、その他の金融負債の1,613百万円増加の19,648百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における非流動負債は、前連結会計年度末比11,729百万円増加の60,052百万円(前連結会計年度末 48,323百万円)となり、主な残高及び増減の内訳は、契約負債の1,557百万円増加の10,109百万円、長期未払金の増加等によるその他の金融負債の7,996百万円増加の39,099百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における親会社の所有者に帰属する持分の額は、前連結会計年度末比10,797百万円増加の136,548百万円(前連結会計年度末 125,751百万円)、親会社の所有者に帰属する持分比率は44.4%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、34,814百万円(前年同期末 41,419百万円)となりました。

## &lt;営業活動によるキャッシュ・フロー&gt;

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益20,588百万円(前年同期 19,645百万円)、減価償却費及び償却費23,280百万円(前年同期 21,929百万円)、うちIFRS第16号の適用によるオペレーティング・リースに係る使用権資産の減価償却費8,998百万円(前年同期 8,868百万円)、法人所得税の支払い9,400百万円(前年同期 7,897百万円)があり、営業資産及び負債の増減は主に前払費用による支出増等により17,122百万円の支出(前年同期 6,931百万円の支出)となり、19,329百万円の収入(前年同期 27,587百万円の収入)となりました。

## &lt;投資活動によるキャッシュ・フロー&gt;

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、松江データセンターパーク関連他の有形固定資産の取得による9,711百万円の支出(前年同期 8,261百万円の支出)、ソフトウェア等の無形資産の取得による6,267百万円の支出(前年同期 5,778百万円の支出)等があり、17,875百万円の支出(前年同期 13,060百万円の支出)となりました。

## &lt;財務活動によるキャッシュ・フロー&gt;

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、本社オフィス等のオペレーティング・リース及びネットワーク機器等のファイナンス・リースの支払等によるその他の金融負債の支払17,502百万円(前年同期 15,053百万円)、その他の金融負債による収入7,770百万円(前年同期 6,371百万円)、短期借入金による調達7,000百万円(前年同期は自己株式取得に見合う調達等11,800百万円)、配当金の支払6,134百万円(前年同期 5,682百万円)、長期借入金の返済3,548百万円(前年同期 2,045百万円)等があり、12,459百万円の支出(前年同期 16,065百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績につきまして、売上高は、ネットワークサービス売上高が想定を下回る一方でシステムインテグレーション売上高が上回り、連結業績予想に沿い推移いたしました。営業利益は想定を下回る一方で、当期純利益は連結業績予想に沿い推移いたしました。例年、通期連結業績見通しに対する業績寄与は第4四半期によるところが大きく、当連結会計年度の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書 (未監査)

	前連結会計年度末 (2024年3月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (2024年12月31日現在)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	45,474	34,814
営業債権	45,683	47,080
棚卸資産	3,227	6,505
前払費用	20,084	28,999
契約資産	3,110	6,924
その他の金融資産	1,532	3,161
その他の流動資産	779	434
流動資産合計	119,889	127,917
非流動資産		
有形固定資産	29,072	32,897
使用権資産	41,242	42,940
のれん	10,328	10,497
無形資産	18,357	20,357
持分法で会計処理されている投資	5,169	6,780
前払費用	19,412	28,188
契約資産	108	73
投資有価証券(株式)	14,563	18,208
その他の投資	9,805	10,982
繰延税金資産	290	301
その他の金融資産	5,210	8,207
その他の非流動資産	268	319
非流動資産合計	153,824	179,749
資産合計	273,713	307,666

	前連結会計年度末 (2024年3月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (2024年12月31日現在)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	25,435	30,530
借入金	30,133	33,635
未払法人所得税	5,328	2,598
引当金	—	303
契約負債	12,685	15,668
繰延収益	56	48
その他の金融負債	18,035	19,648
その他の流動負債	6,686	7,263
流動負債合計	98,358	109,693
非流動負債		
借入金	47	—
退職給付に係る負債	4,991	5,335
引当金	901	1,583
契約負債	8,552	10,109
繰延収益	237	216
繰延税金負債	1,483	2,605
その他の金融負債	31,103	39,099
その他の非流動負債	1,009	1,105
非流動負債合計	48,323	60,052
負債合計	146,681	169,745
資本		
資本金	25,562	25,577
資本剰余金	35,737	35,799
利益剰余金	65,616	73,247
その他の資本の構成要素	10,863	13,835
自己株式	△12,027	△11,910
親会社の所有者に帰属する持分合計	125,751	136,548
非支配持分	1,281	1,373
資本合計	127,032	137,921
負債及び資本合計	273,713	307,666

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 (未監査)

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
	百万円	百万円
売上収益		
ネットワークサービス売上高	112,303	120,109
システムインテグレーション売上高	86,620	107,003
ATM運営事業売上高	2,175	2,198
売上収益合計	201,098	229,310
売上原価		
ネットワークサービス売上原価	△80,078	△86,417
システムインテグレーション売上原価	△73,874	△92,787
ATM運営事業売上原価	△1,193	△1,178
売上原価合計	△155,145	△180,382
売上総利益	45,953	48,928
販売費及び一般管理費	△25,621	△28,228
その他の収益	98	119
その他の費用	△150	△114
営業利益	20,280	20,705
金融収益	491	903
金融費用	△704	△756
持分法による投資損益	△422	△264
税引前四半期利益	19,645	20,588
法人所得税費用	△6,508	△6,661
四半期利益	13,137	13,927
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	12,979	13,786
非支配持分	158	141
四半期利益	13,137	13,927
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	73.10	77.93
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	72.72	77.53

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	13,137	13,927
その他の包括利益 (税引後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして 指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	2,015	2,429
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,015	2,429
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	613	513
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	35	9
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	648	522
その他の包括利益合計(税引後)	2,663	2,951
四半期包括利益	15,800	16,878
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	15,642	16,737
非支配持分	158	141
四半期包括利益	15,800	16,878

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書(未監査)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年4月1日時点の残高	25,562	36,738	51,202	6,571	△1,831	118,242
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	12,979	—	—	12,979
その他の包括利益	—	—	—	2,663	—	2,663
四半期包括利益合計	—	—	12,979	2,663	—	15,642
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	—	△11,405	△11,405
自己株式の処分	—	17	—	—	80	97
自己株式の消却	—	△1,129	—	—	1,129	—
配当金	—	—	△5,682	—	—	△5,682
株式報酬取引	—	59	—	—	—	59
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	201	△201	—	—
所有者との取引額合計	—	△1,053	△5,481	△201	△10,196	△16,931
2023年12月31日時点の残高	25,562	35,685	58,700	9,033	△12,027	116,953

	非支配 持分	資本合計
	百万円	百万円
2023年4月1日時点の残高	1,185	119,427
四半期包括利益		
四半期利益	158	13,137
その他の包括利益	—	2,663
四半期包括利益合計	158	15,800
所有者との取引額		
自己株式の取得	—	△11,405
自己株式の処分	—	97
自己株式の消却	—	—
配当金	△49	△5,731
株式報酬取引	—	59
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—
所有者との取引額合計	△49	△16,980
2023年12月31日時点の残高	1,294	118,247

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年4月1日時点の残高	25,562	35,737	65,616	10,863	△12,027	125,751
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	13,786	—	—	13,786
その他の包括利益	—	—	—	2,951	—	2,951
四半期包括利益合計	—	—	13,786	2,951	—	16,737
所有者との取引額						
新株の発行	15	△15	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	△0	△0
自己株式の処分	—	△15	—	—	117	102
配当金	—	—	△6,134	—	—	△6,134
株式報酬取引	—	92	—	—	—	92
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△21	21	—	—
所有者との取引額合計	15	62	△6,155	21	117	△5,940
2024年12月31日時点の残高	25,577	35,799	73,247	13,835	△11,910	136,548

	非支配 持分	資本合計
	百万円	百万円
2024年4月1日時点の残高	1,281	127,032
四半期包括利益		
四半期利益	141	13,927
その他の包括利益	—	2,951
四半期包括利益合計	141	16,878
所有者との取引額		
新株の発行	—	—
自己株式の取得	—	△0
自己株式の処分	—	102
配当金	△49	△6,183
株式報酬取引	—	92
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—
所有者との取引額合計	△49	△5,989
2024年12月31日時点の残高	1,373	137,921



## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (未監査)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	19,645	20,588
調整		
減価償却費及び償却費	21,929	23,280
固定資産除売却損益 (△は益)	53	84
持分法による投資損益 (△は益)	422	264
金融収益	△491	△903
金融費用	704	756
その他	310	2,242
営業資産及び負債の増減		
営業債権の増減額 (△は増加)	△2,495	△1,252
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△430	△3,172
前払費用の増減額 (△は増加)	△8,991	△17,408
契約資産の増減額 (△は増加)	△2,035	△3,778
その他の資産の増減額 (△は増加)	△861	353
その他の金融資産の増減額 (△は増加)	307	△4,017
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,099	5,151
契約負債の増減額 (△は減少)	1,967	4,260
繰延収益の増減額 (△は減少)	22	12
引当金の増減額 (△は減少)	—	809
その他の負債の増減額 (△は減少)	158	642
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	1,008	934
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	320	344
小計	35,641	29,189
利息及び配当金の受取額	304	282
利息の支払額	△461	△742
法人所得税の支払額	△7,897	△9,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,587	19,329

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
	百万円	百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,261	△9,711
有形固定資産の売却による収入	558	1,112
無形資産の取得による支出	△5,778	△6,267
無形資産の売却による収入	624	—
子会社の取得による支出	△29	—
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	—	△1,925
投資有価証券(株式)の取得による支出	—	△100
投資有価証券(株式)の売却による収入	357	—
その他の投資の取得による支出	△685	△779
その他の投資の売却による収入	72	16
敷金及び保証金の差入による支出	△348	△289
敷金及び保証金の回収による収入	91	129
積立保険料の支払	△56	△56
積立保険料の払戻による収入	391	—
その他	4	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,060	△17,875
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,045	△3,548
短期借入金の純増減額(△は減少)	11,800	7,000
自己株式の取得による支出	△11,405	△0
その他の金融負債による収入	6,371	7,770
その他の金融負債の支払	△15,053	△17,502
配当金の支払額	△5,682	△6,134
その他	△51	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,065	△12,459
現金及び現金同等物の為替変動による影響	485	345
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,053	△10,660
現金及び現金同等物の期首残高	42,472	45,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,419	34,814

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（未監査）

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

当社グループは、当第3四半期連結累計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS		新設・改定の概要
IAS第7号 IFRS第7号	キャッシュ・フロー計算書 金融商品：開示	サプライヤー・ファイナンスの透明性を増進させるための開示要求

上記基準書の適用による要約四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。

## (セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の事業活動の最高意思決定者である当社グループの代表取締役社長執行役員が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。なお、代表取締役社長執行役員は、売上収益及び営業利益を主要な指標として、各セグメントの業績評価を行っております。

当社グループは、主として、インターネット接続サービス、WANサービス、アウトソーシングサービス等から構成されるネットワークサービスとシステムインテグレーションサービスを複合して提供することによって、顧客のニーズに応じた包括的なソリューションの提供を行うネットワークサービス及びSI事業と、ATM運営事業を行っております。したがって、当社グループは「ネットワークサービス及びSI事業」、「ATM運営事業」の2つを報告セグメントとしております。また、ATM運営事業は、銀行ATM及びネットワークシステムを構築し運営することにより、ATM利用に係る手数料収入を得ております。

当社グループのセグメント情報は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

	報告セグメント		調整額	要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業		
	百万円	百万円		
売上収益				
外部顧客からの売上収益	198,923	2,175	-	201,098
セグメント間の売上収益	61	-	△61	-
売上収益合計	198,984	2,175	△61	201,098
セグメント営業利益	19,489	791	-	20,280
金融収益				491
金融費用				△704
持分法による投資損益				△422
税引前四半期利益				19,645

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

	報告セグメント		調整額	要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業		
	百万円	百万円		
売上収益				
外部顧客からの売上収益	227,112	2,198	-	229,310
セグメント間の売上収益	26	-	△26	-
売上収益合計	227,138	2,198	△26	229,310
セグメント営業利益	19,836	869	-	20,705
金融収益				903
金融費用				△756
持分法による投資損益				△264
税引前四半期利益				20,588

セグメント間取引は、市場に基づく取引価格に依っております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。